委員長

山

睦

子

南部町社会福祉協議会

長

入

幹

部町

合併二十周紀

年を祝して

南部町赤十字奉仕団 広報部

電話: 0859-66-2900 事務局。 **「南部町社会福祉協議会**

この記念紙は、赤い羽根共同募金配分金を活用して作成しました。

南





・七年の合併以

赤十字の理念である人道の実現 は地域の皆様や関係諸団体のご 年を迎えます。これまでの活動 以来今年で二十周子奉仕団は、平成

るい社会のために活動して参りました。 人と人とを繋ぐ心、を大切に共に助け合う明 これまで思いやり、 地域社会に貢献するという強い思いを持ち、 を目指し、様々なボランティア活動を通じて 文援のおかげであり心より感謝申し上げます。 二十年にわたる歴史と伝統を顧みた時、 私たちは、 やさしさ、助け合い、奉仕、 皆様のお力を

ご高覧頂けましたら幸いに存じます。 奉仕団の軌跡を記念誌としてまとめましたの 力として仲間を募り活動を広げ、 誇りに思います。これからも奉仕の精神を原動 輩の後に続き地域福祉の向上に貢献出来る事を お借りし地道に活動して参りたいと思います。

南部町

合併二十周紀

年団

せ

活性化の

強

化

煉血

一への協力

部町 合併二十周年を祝金十字奉仕団

社会福祉法人

伯耆の国 理事長

山

野

良

夫

8

交流 世団、

取得が技術の参加による知

6

との

5

日本赤十字社鳥取県支部

事務局長 池 上 祥 子

年を心からお祝い申し上げます。 精神が一つとなり、 旧西伯町と旧会見町の奉仕の 部町赤十字奉仕団合併二十周

皆様のこれまでのご尽力に改めて敬意を表力を頂いております。歴代の委員長、団員 運動の普及推進など、当支部の活動に大きなけておられます。また、献血や募金、赤十字 けておられます。また、献血や募金、赤十字感を得て地域社会に確かな安心と温もりを届 大切にした活動を地道に積み重ねてこられまの支援など地域と連携し人と人との繋がりを 力を頂いております。 した。そのご活動は、多くの方々の信頼と共 ますとともに深く感謝いたします。 の奉仕活 や小中学生のボランティア体験 高齢者施設

と受け継がれ更に発展していくこと、 二十年にわたる貴団ご活動が、次の世 皆様のますますのご健勝とご活躍を心よ あ わ代 せ

強く希望し、この間の活動に対し、

今後も赤十字精神に基づいた活動

改めてい

感を

するものであります。

令和7年11月6日発行

活動に対し、心より感謝と敬意問年おめでとうございます。南部町赤十字奉仕団合併二十

かたします。

が更に充実、拡大し発展されることを祈念験範を示すものとなっています。皆様方の活はならないものであり、ボランティア団体のはならないものであり、ボランティア団体のに基づく活動は、地域に根差し地域になくて でご協力頂き重ねて感謝申し上げる次第です。 スに係る託児ボランティ ア体験(小・中学校)での奉仕など様々な場面 法勝寺川土手清掃ボランティア、子供服 を表します。 町社協が主催する事業であります ア、 夏休みボランティ リユ

また、

た二十年ではなかったかと思われます。 (震災をはじめ五度もの大震災等が発生し、この二十年間には、平成二十三年の東日本 ・年間の活動に対し、心より敬意を表す次第です。 字奉仕団の活動が地域の中で明確に見え 周年誠におめでとうございます。南部町赤十字奉仕団合併二十 奉仕団精神の人道・博愛を基 団員一丸となったこの二

居者の心の癒しとなり続けることを強く希望の中に暮らしの風を吹き込んでいただき、入この活動のバトンが確実に引き継がれ、施設時間の経過とともにメンバーが替わっても、 目指す暮らしの継続そのものがあります。親しく声をかけてもらえる安心感が芽生え、同じ地域で暮らしてきた馴染みの顔に会い、ゆうらくには、施設の中に季節の花があり、

字活動を表す

仕精神の普及赤十字奉仕団の

の奉

奉仕
炎害援護に関する

る

社員増強に努める

新団員の加入促進

団員交流スポーツ大会の実施

各部会の事業推進

日南町赤十字奉仕団

境港市赤十字奉仕団

鳥取市赤十字奉仕団

湯梨浜町東郷赤十字奉仕団

八頭町赤十字奉仕団

救命救急法講習会 車イス介助講習会

防災ボランティア 研修への参加

> 献血推進の呼びかけ、 献血車協力

8の基本

の奉仕 地域社会、 め福

活動 化等に関する 環境整備と美

施設奉仕

仕団の普及活動の実施

赤十字デーの普及活動の実施

町行事等に参加し、赤十字奉

奉仕団だよりの年一回の発行

- 募金運動の実施
- 子供たちとの交流

地域諸組織・団体 との連携活動

プルタブを回収し車 イスを贈る活動の継続

法勝寺川土手清掃活動

炊き出し訓練の実施 災害ボランティアセンターへ の支援体制準備

いっしょに活動しませんか

赤十字奉仕団員

陰の力となって人々に奉仕するすべての人々の幸せを願い 常にくふうして人々のために

身近な奉仕をひろげすべての人々と 手 よりよい奉仕ができるよう努める をつないで世界の平和につくす

面部町成十字奉他回事第紹介

5月は赤十字の創始者ア ンリー・デュナンの誕生月 で、赤十字の普及・促進活 動のため街頭キャンペーン を毎年行っています。



赤十字デー 頭キャ

我々のワンコインが、苦 しむ人々の笑顔を取り戻す。 「人間を救うのは人間だ」 毎年、12月に活動してい ます。



海外助 け合い 街頭募金



境港市赤十字奉仕団との交流会



八頭町赤十字奉仕団との交流会

他奉仕団との交流会

平成 19年 日南町赤十字奉仕団 平成 20 年

平成 21 年 境港市赤十字奉仕団 平成 26 年 //

平成 23 年 鳥取市赤十字奉仕団 平成 24 年 湯梨浜町東郷

赤十字奉仕団 南部町 八頭町赤十字奉仕団 令和 5 年 南部町

(船岡・八東・郡家)

防災訓 練

南部町

日南町

境港市

南部町

鳥取市

災害時に命を守る食事。大釜 での炊き出しを行い身近な食材 を使ってわかめご飯、蒸しパン を作りました。ほっとするよう な家庭の味が心のケアにつなが るように、団員が工夫を凝らし て提供しました。

南部町社会福祉協議会が 開催している子ども用品譲 渡会に託児ボランティアと して参加しています。カ フェブースやeスポーツ ブースもあり、大変盛り上





血液型が合えば、手術がで き助かります。出血を伴う手 術には輸血が欠かせず、献血 は大切な命を救います。今後 も皆様のご好意による尊い献 血が続けられることを願いサ

ポート して参 ります。





小中学生に奉仕団の活動を紹介する 「夏休みボランティア体験」がありま した。防災食づくり、ダンボールベッ トの組み立て、プルタブの選別作業等 行いました。ボランティアの小さな種 が根付いてくれたら嬉しいです。

ライア体験

を時の利用者さんの感激された を開かれているのが二十四 にはってすべて中止となりま にに咲く草花を施設内のあちこ をに生け、季節の移ろいを感じ をに生け、季節の移ろいを感じ をに生け、季節の移ろいを感じ をに生け、季節の移ろいを感じ が、今後も寄り添い、喜びの輪 が、今後も寄り添い、喜びの輪 が、がある奉仕活動に努めてゆき

・花回廊の 移動

た時の利用者さんの感激されたりパットを手作りプレゼントしの和やかな語らい。小豆入りホッション部によるユニット訪問での演芸交流会。 またリラクゼーア。 工夫を凝らした各地域ごと ごぎやか! の車椅子でのなりな夏祭りや餅 3介助ボランティ・椅子での施設内 つき。

設 「ゆうらく」





顔で応じてくれる選手たちも、苦しい力走の中でも声援に

いざし

知識や技術を身に

着

トライアスロン皆生大会









おる園ぼ手奉の 団児を製仕前毎





ハットの贈呈 小豆入りホッ

◆ふれあいクリ

ウォー

▼花の

寄

新年会







南部町ボランティア の参加

ボランティア

活

寸





救命救急法講習会





A E D 体験するを用いた救命処置を







▼グラウ ▼バーベキュ

う時に備える

渡 吉 吉 吉 吉 由 唯 山 山 山 三 三 三 松 細 福 福 秦 野 野 西 西 仲 仲 長 永 種 谷 田 陶 陶 坂 河 北 亀 亀 加 加 岡 遠 遠 遠 岩 板 板 石 生 阿 足 青 **邉持**田澤良 本野田鴨鴨鴨野田間田 口口本村原田尾江 本子山山本野尾尾尾戸藤田藤藤藤佐持 井原田代谷砥 田

五 十徳佐登英純冨聡猶真安ま多さ和幸幸幸和幸昭秀芳三春真い茂綾幸睦節篤早幸芳克悦紀洋優忠和暢 秀千司佐 由美一子知志明子子太己由身す憙つ子子子子子子子子子砂美由づ美子子子子美苗枝美栄子巴子彦明子子薫子恵子知正美智 み子き 美み